

# 今夜、なにがみえるかな

2018年6月

北

2018年6月中旬  
21時頃の星空

東



西

南

国立天文台 天文情報センター

## 6月の星空

6月は雨の多い時季です。あじさいの花が目を楽しませてくれますが、夜空はなかなか顔を出してくれません。しかし雲の上では変わらぬ美しさで星々は輝いています。夜9時頃、そら高くに輝く星が見えたらおとめ座のスピカか、木星か。赤みがかって見えたらアークトゥルスかもしれません。星にはそれぞれ名前がついています。星座を探すのは難しくても、お気に入りの星を見つけて季節を感じるのも良いかもしれません。夏もすぐそこです。夜半を過ぎるとベガやアルタイルといった七夕にゆかりの星々が昇ってきます。

## 3階ミニギャラリーにて

・春から初夏の星空紹介  
4月から7月に見られる天文現象を解説したパネルを設置してあります。またハッブル宇宙望遠鏡が撮影した美しい星々の写真展。そしてテーマ番組に連動した解説パネルなどを展示しています。

## プラネタリウムのご案内

■一般投影 (土・日・祝日のみ) 各回約20分50名まで

●テーマ番組 「プラネタリウムで時空旅行」

10・13・15時～

最新型プラネタリウムの機能を活かして、ピラミッドが作られた時代の星空など、現在・過去・未来の星空を見ていきます。また地上から見た星空に加え、宇宙空間に飛び出して見られる星空の様子も紹介し宇宙の魅力をお伝えします。

●星空解説 「今夜なにがみえるかな？」

11・14・16時～

街中でも見える明るい星を中心に、2018年春から夏の星空を紹介します。星にまつわる神話や天文現象の話もお楽しみに。

■団体投影 (平日) 各回50名まで

10名以上の団体はプラネタリウムを貸し切って投影をお楽しみいただけます。(2日前迄に予約)